

## 商 況

販賣旬報 第96號 昭和4年6月21日

ドイツカースの特殊工場を訪ふ 海外便り (第八便) 英國シエフェールドにて 鈴木 參 事

(1) 歐洲大戰と列強の造艦競争に依つて育まれた此の工場は、大戰の終熄、軍備制限の條約に依つて致命的打撃を受け、不戰條約の成立に依つて完全に止めを刺されたものゝ代表的のものである。而して軍需工場より平和工場への轉換を餘義なくせられつゝも、其の圖體の餘りに大なるに惱まされ、藻掻きに藻掻きつゝあるものとして同情に値すべきであらう。アーマープレートの超勞級的壓延工場、巨龍を鑄造すべき驚異的設備は空しく煙塵に埋れて、大戰に逝ける幾萬生靈の墓標かと疑はれる。工場當務者はこれこそ「不戰條約の成立に對して英國が捧ぐる祝意の表徴だ」と苦笑して居た。

(2) 斯かる運命の下に置かれた工場から吾等の學ばしめらるゝ2個の重要事項を發見する。第1は其の資本の整理を最も勇敢に斷行したことで第2は製作品目の變換に伴ふ工場整理の經過である。前者は企業主體改善であり、後者は企業客體の整備である。1は過去の事蹟に徴し得べく2は將來の經過に俟つべきものである。

(3) 軍需工場としての致命的打撃に備ふべく彼等の第1に着手したことは企業主體の改善である。資本の過大並に其の分立が其の企業の存續乃至發達に及ぼす障害を除去せんが爲めに、第1には同種企業者の合同を計畫しアームストロングとの合併に成功した。第2に斯くして合同した資本の切下を敢行し最初の3,850萬鎊を1,300萬迄に減資した。斯くの如く資本の合同又は切下を敢行し、少くとも其の過大又は分立より來る企業の危殆を救はむとすることは、獨り此の工場のみならず、他に幾多の事例の存することであつて、彼等が資本にも捷つて企業を愛せむとする國民的美風とも見るべく、吾等の深く學ばねばならぬ處ではなからうか。

(4) 企業主體の整備に成功を収めた彼等は次に企業客體の改造に手を染めねばならなくなつた。此の點に關して彼等の今日迄に爲したことは必ずしもまた成功の域に達して居るとは見られない。現在彼等は、從來軍需品の製作に使用して居た動力又はハンマー類の許す限りに於て、平和工業用特殊鋼の製作に充てゝ居る。現在の製作品目としては棒型又は弓型のシャフト類を第1とし、スプリング類、自動車、飛行機、造船其他雜工業用特殊鋼製品の製作をやつて居る。就中、弓型シャフト類の如きは驚嘆に値すべき精巧のものが出來て居る。概して中小型物に就ては、數量もまとまり、能率も或る程度迄上げることが出来るらしいが、大型物に至つては、質も型も雜多であつて、結局不引合は免れぬものゝ如くである。平和工業界の現状に於ては一塊200噸と言ふが如き大型特殊鋼塊を容易に消化して此の種の工場を輔育すべき能力に乏しいからであらう。

(5) 要之、大戰又は造艦競争に備ふべく設けられたる動力乃至機械類の運轉を平和工業界に託せんとすることの困難は彼等に迫つて之が根本的直直しを要求しつゝあるのであるが、此の要求に従へば、將來大英國並に其の屬領を護るに足るべき國家的至寶を空しくせねばならぬ。しかも此の要求に従はざれば、此の企業の基礎を危殆に陥らしめねばならぬ。國防上の至寶に對する愛惜と企業の存立に對する必要とは彼等をして矛盾の深淵に苦悶せしめつゝあるのが此の工場の現状である。英國の陸海軍當局者並に此の問題を如何に處理せむとするか、蓋し斯界に於ける興味ある問題の一であり又吾等の今後に於て學ばむとする處に外ならぬのである。(4月15日)

電機鐵板に關する英米の密約と獨逸の世界的進出 海外便り 數年前から、英米電機鐵板業者の間に特別の秘密協約が締結せられてあつたと推定すべきものがあつた。其の内容は世界販路の分割と言ふ處まで行つて居つたか、乃至は、單なる最低輸出値段の取極だけに止つて居つたかの點は今日迄外部から窺知を許されて居らぬ。兎に角、此の2國が世界市場を壟斷して居つた數年間と言ふものは、凡てが非常に圓滑に行はれ、其の値段の如きも、期間に依る一高一低は別として、大體に於て釘付の状態に置かれてあつた。然るに1、2年以前から獨逸の電機鐵板界が活動し出して來て、此の英米の密約を知つてのことか知らんてのことか判らぬが、思ひ切つたる安値を出して英米の堅壘に肉迫した。そして、また、く間に世界市場を捲席して英米をして顔色なからしめた。吾等が母國に於てSSS會を組織した頃より以後、安價なる獨逸品に依つて幾度か脅威されつゝ今日に及んで居ることは、這般の事情の反映に外ならぬのである。獨逸品は品質に於て英米に比し必ずしも優秀なるものではない。然し値段は何物にも優る廣告である。

今や獨逸品の英米品に對する恐るべき強敵となつて世界を横行しつつある。英米は、この始末を如何につけるであらうか。蓋、今後に於ける興味ある着物の一たるを失はぬであらう。(5月29日 伯林にて——鈴木參事)

5月中大陸市況一棒鋼台割れ 盛り澤山の強氣材料を手にして幾度か好轉を期待され乍ら遂に4月を無爲に過して了つた大陸鐵鋼界は5月を迎へても氣勢依然昂らず上旬聊か市場活況の氣配に活氣付いたが其も思はせ振りに終つて其後は聖靈降臨祭やら英國の選挙戦やらも手傳つて買手は一向に買進まず、中旬下旬と市場は閑散を繰返した。相場も大體先月と變化はないが、先月辛くも6-0-0を維持してゐた棒鋼は月の改まると共に更に需要の減退を來して軟勢に傾き、メーカーの必死の努力も空しく遂に懸念された臺割を演じた。只此の渦中にあつて工形と鋼板だけは半製品

月日 / 品種	棒鋼	工形	大形山形	鋼板(16')	ピレット(2')
5月1日	5-19-6	5-2-9		6-5-9	5-7-9
5月8日	5-19-6	5-2-9	5-7-9	6-5-9	5-8-0
5月15日	5-19-6	5-2-9	5-7-6	6-5-9	5-8-0
5月25日	5-19-6	5-3-3	5-7-9	6-6-6	5-8-0
5月29日	5-19-0	5-4-3	5-9-6	6-6-6	5-7-9

の品薄に小締りを見せ、殊に工形に至つては4月下旬の5-2-0より5-2-9、5-3-3と漸騰を重ね下旬には内地需要も相當多量に上つて遂に5-4-3と久振りの高値に賑ひを呈した。實際半製品市

場は甚しい品不足に本月に入るや先月下旬の軟化を直ちに盛り返して一躍5-7-9を賣場へ中旬頃には5-8-0と再度新高値をさへ出現したのである。

Brussel Iron and Steel Exchange の相場上表の如し (f. o. b. アントワープ)

9月渡先物協議會一棒鋼据置 6月11日當所東京出張所に於て9月渡先物協議會を開く、定例により買手側より提出の外注値段、希望値段及本所決定値段は次の通りである。

品名 / 區分	沖着値段	河岸着値段	希望	本所決定値段	備考
棒鋼	7-6-0	98.78	95	97	据置
小中型山形	7-0-0	95.61	93	95	"
大型山形	6-17-6	94.28	93	94	1圓上ゲ
工形	6-14-0	92.42	93	92	"
溝形(吋寸法)	7-0-6	95.88	95	96	"
"(耗寸法)	6-14-6	92.69		93	2圓上ゲ
鋼板 4.5耗	7-15-0	103.57	103	103	1圓上ゲ
" 3.2耗	7-19-6	105.95	105	106	"
" 2.3耗	8-1-9	112.14	112	112	"
" 1.6耗	8-4-9	113.74	113	114	2圓上ゲ
線材	7-17-0	101.27	100	101	1圓上ゲ
鋺力 100封度	1-0-6	11.84	11.60	11.70	10錢上ゲ
" 170封度	1-17-2	21.42	21.10	21.40	30錢上ゲ
黑板 13枚 爲替 1/4	14-2-6	180.10	177	179	2圓上ゲ

今月の協議會に於ける問題は數字上大體自給自足の域に達したと見られる丸鋼及中小型山形の建値に關することであつた。買手側の言分は此兩者は最早や他の鋼材と立場を異にするのみならず、特に不況の今日に於ては外注値段に據ることなく内地相場を標準として建値する様にとの要求であつたが、此問題は單に數字上の自給自足と云ふ理由のみにては之に應ずること不可能にして、外注に對する何等の方策も建たざる今日としては未だ其時機にあらざるを以て外注値段に對應して棒鋼 99 圓を

主張せるも現在に於ける地場の不味を加味して前月据置と決定した。

今月より溝形は吋寸法と耗寸法とを區別して値段を發表することにしたが、耗寸法の適用を受けるものは決局 50m/m × 100m/m の一吋法となつた。但し此の點に付ては 8 × 3 もメートル化する迄は耗値段にするが至當との主張もあり多分來月から入れられる事であらう。猶黒薄鋼板に就ては海外不味を楯に据置の希望であつたが採算上相當高値につくを以て前月より2圓上げと決定した。

前月に比較すると海外値段は大體に於て殆んど變りなきも、爲替が前月に比し5磅下りなのが利いて河岸着値段は高値となつた。

左記		
數量	2ヶ月渡以内の分	超2ヶ月
20哩以下	106圓	104圓
超20哩	105圓	103圓

重軌條及總目板値段改正 — 1圓上げ 其後外注値段には殆んど變りなきも爲替の低落に原因して前回に比し河岸着値段は幾分高値につくを以て6月15日従前より1圓上げの左記値段に改正した。

6 月中旬線材、薄板、鉄力板、輸入速報

揚 港	線	材			薄 板		鉄 力 板		
		B. W. G No. 5	其 他	計	上中旬計	0.7 耗以下	上中旬計	上中旬計	
神 戸		3,735	26	3,761	6,049	1,467	2,439	920	1,794
大 阪		651	43	700	1,301	812	1,472	—	—
横 濱		759	72	831	2,307	525	926	366	2,299
計		5,145	147	5,291	9,657	2,804	4,837	1,286	3,993
上中旬計		8,502	1,155	9,656		4,837		3,993	

備考、神戸大阪は自8日至17日至7月、横濱自7日至16日

**東西市況** — 地場萎縮 今の處は梅雨とは思はれぬ程順潮の天候に恵まれては居るもの、市中としては丁度決算期を眼前に控え、地方筋は農繁期に掛つたので、一般の荷動きは豫想外に鈍い爲相場も押氣味たるを免れない模様で、前旬あたり稍氣を持った市場も一寸腰を折られ、全く萎縮の状態と云はれて居る。

**東京市況** — **丸鋼** ベス物は何時立ち直るべしとも見えず、荷動きの鈍いのに連れて益々氣配軟調に傾き、他鋼材迄此渦中に巻き込む氣勢である、細丸もベースに引きづられて復も下押し氣味となつた。

**角、平鋼** 角は棒鋼中では品薄の爲どうやら保合つて居るが 9m/m, 12, 15 は伸鐵の注入により小弛みである。平は最早昔日の佛はなく軟調裡に推移して居る。

**型钢** 中型等山の腐れは不相變にて大型及不等山は保合、溝工共高値の儘保合つて居るが溝の 2×4 や 3½×12 工の 5×12 は其中でも手持薄の爲光つて居る。

**鋼板** 他鋼材の不味を他所に見て、今や業界の寵兒となり、特に 1.6×3×6 や 4.5×3×6 や 4×8 は突飛な値を呼んで居るが何時迄此好調が續くことやら、細丸の轍を踏まぬ様切に自重を望む處である。

**大阪市況** — **丸鋼** 弱含保合のまゝ比較的平穩なれども、東京安及メーカーの協調の成否に多大の關心を持つて居る關係上、已に金解禁以下の相場を現出して居ながら、腰強く買進むだけの元氣も出ない。

**角、平鋼** 角は 65. 75. 90 不相變の品薄に僅かの需要にも ¥50/¥1.00 と暴騰を演じて居る、細物も依然旋り。平は丸鋼と同様保合、只 2½ ものは特に安く前途メーカーの進出を氣構えて頭重い。

**型钢** 中山形先物高を現實に見ながらも一向下へず、全般悪氣流裡にある間は特殊の刺戟がなければ中々立直らぬものと見られて居る、大形山は當所品の出廻りも順調に向ひ市場も比較的無難に消化して居るが此邊を峠と見る向もある。工形は 4×8 を除く他は大體良好なる商狀に推移し溝形は 2/3 大形もの依然良好で一大形物も稍引き締り氣味となつた、殊に 50×100 は 14 圓と暴騰した。

**鋼板** 3.2×4×8 は東京より西流して稍緩和せられ、4.5×5×10 は 15 圓と狂奔し、6m/m 以上は入荷氣構ながらも現物は旋りして居る。

外國爲替市中相場

區分\月日	Jun 10	11	12	13	14	15	16	18	19	20
日 英	1/9 - 23/32	1/9 - 1/16	"	"	"	"	"	1/9 - 23/32	"	1/9 - 3/4
日 米	43 - 1/16	43 - 7/8	"	"	"	"	"	43 - 1/16	"	44
日 佛	10.95	"	"	"	"	"	"	11.05	"	"

備考 日佛のみ正金建値。

東京大阪市中相場

{東京 6月19日  
{大阪 6月15日

	丸 鋼		等邊山形鋼				工 形 鋼	
	東京	大阪	m/m	m/m	m/m	東京	大阪	
6m/m	10.10	9.90	9×75×75	9.35	9.20	0.36'×5'×10'	9.60	9.90
9	9.75	9.70	9×130×130	9.60	10.20	鋼 板		
12	9.60	9.70	12×130×130	"	10.40	1.6m/m×3'×6'	14.30	14.50
19	9.30	9.35	15×150×150	9.80	10.30	1.6×4×8	11.80	11.50
25	"	"	不等邊山形鋼			3.2×4×8	12.00	13.50
50	10.10	11.00	3/8"×2"×3"	10.20	9.60	3.2×5×10	11.90	12.50

丸	鋼	不	等	山	鋼	板
65	"	10-80	$\frac{3}{8}$ × 3 × 4	9-50	9-80	6-0 × 4 × 8 14-00 12-60
角	鋼		$\frac{3}{8}$ × 3½ × 5	9-90	10-50	6-0 × 5 × 10 12-50 11-90
9m/m		10-80 10-00	$\frac{3}{8}$ × 4 × 6	9-70	9-90	9-0 × 4 × 8 11-30 11-20
12		10-90 10-20	$\frac{1}{2}$ × 4 × 6	9-75	10-00	9-0 × 5 × 10 11-20 11-00
15	"	"	溝形鋼			薄鋼板(13枚)
19	"	10-70	$\frac{1}{4}$ " × 2' × 4"	13-00	14-00	米 72.5 71
38		10-70 10-20	0-312 × 2½ × 5	9-80	9-70	英 71 70
平	鋼		$\frac{3}{8}$ × 3 × 6	10-20	9-80	八幡 70 69.5
$\frac{1}{4}$ " × 1½"		9-90 9-50	$\frac{3}{8}$ × 3 × 8	9-90	9-70	銑力板
$\frac{1}{4}$ × 2		9-80 9-40	$\frac{3}{8}$ × 3½ × 10	10-60	11-50	米 {170 <sup>lbs</sup> 23-20 22-80
$\frac{1}{4}$ × 3		" 9-70	$\frac{3}{8}$ × 3½ × 12	15-50	16-50	米 {100 12-70 12-30
$\frac{3}{8}$ × 4		9-90 10-20	工形鋼			英 {170 22-50 22-00
$\frac{1}{2}$ × 4		" 10-50	$\frac{1}{4}$ " × 3' × 6'	9-60	9-30	英 {100 12-10 11-90
m/m m/m m/m	等邊山形鋼		$\frac{3}{8}$ × 6 × 12	10-70	11-50	八幡 {170 22-70 22-40
6 × 50 × 50		9-60 10-00	0-28 × 4 × 8	9-50	9-20	線材
6 × 65 × 65		9-35 9-20	0-35 × 5 × 12	10-80	11-20	No. 5# 101 97

備考、單位 100 疋につき (置場渡值段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 疋當り。銑力板は 1 箱當り。

昭和 4 年 5 月當所製品揚地別發送高表 單位噸

揚地別	阪神	京濱	當所	伊勢	山陰	内海	奥羽	關門	北海道	滿鮮	支那	臺灣	其他	合計
品名	阪神	京濱	當所	伊勢	山陰	内海	奥羽	關門	北海道	滿鮮	支那	臺灣	其他	合計
鋼材	13,033	5,082	120	—	217	474	415	593	250	3,256	—	289	—	23,729
鋼片及鋼塊	24,648	24,624	5,634	3,860	39	13	59	953	836	71	—	—	—	60,797
副製品	944	1,778	2,972	—	—	742	—	—	—	2,541	—	—	—	8,977
合計	37,681	29,706	5,814	3,860	256	487	474	1,546	1,086	3,327	—	289	—	84,526

昭和 4 年 4 月中民間棒鋼生産高表 單位噸

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸	鋼	丸	鋼	丸	鋼	丸	鋼	角	鋼	平	鋼
$\frac{1}{4}$ "	171	$\frac{13}{16}$	13	$\frac{13}{4}$	684	$\frac{3}{8}$	3	$\frac{3}{8}$	590	$\frac{1}{2}$	42
$\frac{3}{8}$	1,597	$\frac{7}{8}$	6,277	$\frac{17}{8}$	94	$\frac{3}{4}$	25	2	198	$\frac{1}{2}$	112
$\frac{1}{2}$	206	1	7,036	2	177	$\frac{3}{2}$	13	$2\frac{1}{2}$	294	$\frac{13}{4}$	47
$\frac{3}{4}$	2,154	$1\frac{1}{8}$	1,100	$2\frac{1}{4}$	58	4	10	3	75	$2\frac{1}{8}$ - $2\frac{1}{2}$	120
$\frac{7}{8}$	10	$1\frac{1}{4}$	1,222	$2\frac{1}{2}$	215	其他	312	計	1,157	$3\frac{1}{8}$ - $3\frac{1}{2}$	1
$\frac{15}{16}$	5,182	$1\frac{3}{8}$	479	$2\frac{3}{8}$	1	淺野小倉		平	鋼	$3\frac{3}{8}$ -4	105
$\frac{1}{16}$	20	$1\frac{1}{2}$	735	$2\frac{3}{4}$	9	$\frac{1}{4}$ " - $\frac{1}{2}$ "	1,868	1"	15	計	874
$\frac{3}{4}$	4,769	$1\frac{5}{8}$	401	3	33	計	34,874	$1\frac{1}{4}$	41	總計	36,905

販賣旬報 第 97 號 昭和 4 年 7 月 1 日

獨乙鐵鋼界より見たる日本市場の重要性 海外便り (第九便)

獨逸輸出界の鳥瞰計 1928 年の統計をかりて獨逸輸出界の鳥瞰圖を作る。日本に關係なき銑鐵及屑鐵を除き、其他のもの、輸出總計、就中日本向數量とを對比すれば下の通りとなる。

品目	半製品類	軌條及 附屬品類	條鋼類	環鐵類	中厚 板類	薄板類	線材類	鋼管類	鍛成品 工具鋼類	其他	合計
總輸出高	470,715	380,359	791,557	152,690	306,334	73,580	418,112	338,078	73,190	413,645	3,525,260
内日本向 輸出高	28,039	23,587	29,511	10,217	20,000	23,407	82,827	17,909	10,223	1,414	247,134
百分比%	6	5	4	7	7	32	20	5	14	0	7

獨逸は大陸中に於ても日本とは最も關係の深い國であることは前表を一覽したゞいで充分に判る。就中、注意すべき若干の點を列記して見やう。

第 1 半製品に付ては日本の 23,000 噸は英國の 385,000 噸に次いで世界第 2 位を占めて居る。當分の間、この數字は減少を見ぬであらうか。

第 2 軌條の 2 萬 3,000 噸中には往年の鐵道省の輸入の最後のもの及輕條軌を含む。この數字は年と共に漸減するであらう。

第 3 條鋼類及中厚板類は日本市場の獨立と共に益々其の重要性を失ひつゝある。市人思惑の好目標であるだけに今後如何なる數字を示すか判らない。寧ろ、日本市場側に於て注意すべきであらう。

第 4 環鐵類は、英、米、和に次いで、日本は第 4 位に立つ。品物の性質上已むを得ぬ數字であらうか。

第 5 鋼管類は、アルゼンチン、英、印、露、和、米に次いで日本は第 7 位である。問題は鍛鋼品、線材及薄板にある。其の各個に付き以下に詳論して見やう。

**鍛鋼品類** こゝに鍛鋼品と言ふのは高炭素鋼を材料とする工具鋼、シャフト材、スプリング材等及其の半加工品の一團である。これらは國內需要のみを目標とする日本に於ては所謂大量生産に適せぬ爲め、斯くの如き數字を見るのであらう。然し獨逸の輸出 7 萬 3,000 餘噸は、和、英各々 11,000 噸と之に次ぐ日本の 10,000 噸を以て其の過半を占めて居る事情に鑑みれば、日本としても更に考慮すべき何物かあるやうに思はれる

**線材類** 線材類の國別輸出高を見ると下の通りである。

日 本	82,827	ブラジル	26,862	英 國	76,168	フィンランド	15,691
アルゼンチン	52,971	印 度	14,508	和 國	35,611	ノルウェー	13,774

日本は獨逸にとつて世界一の御得意先たる光榮を有して居る。當分の間は、此の數字は減少を見ぬであらうか。線材の輸出を統一管理する爲めに大陸に設けられた大陸線材聯合會に付ては、既に若干の報導を爲してあるし、又其の詳報は別に之を爲すであらうが、此の聯合會の基礎は益々固きを加えつゝある。現に最近行はれた對日本の商策として特記すべきものに次の 2 項がある。

第一は日本向値段引上である。最近運賃値下の行はれたと同時に聯合會は即時にそれだけを原價に於て値上を發表した。世界に敵なき彼等にとつて日本市場のコントロールの如きは赤子の手をねじるよりも容易である。

第二は獨逸の日本向輸出の賣止めである。大陸諸國の中、獨逸品は最も多く日本から好かれて居る。従つて、日本からの註文は殆ど凡て獨逸品と指定して來る。其の結果は、獨逸以外の各國製品は少しも日本には賣れぬ。獨逸は線材聯合會のリーダーである。他の締盟國の品を日本に押し賣りする意味に於て、しばらくの間、獨逸品の賣止めをした。強大なる線材帝國の一屬領に過ぎぬ日本よ。口惜しくば何とでもせよと言はれたら、何と答へたら宜いであらうか。

**薄板界の「エムデン」** 同じき形式に於て薄板の國別輸出高を見ると左の通り。

日 本	23,407
和 國	12,546
伊 國	5,304
瑞 國	6,573
其 他	35,998
計	82,827

日本が世界一たるの不名譽なる光榮は薄板の場合に於て、最も顯著である。しかも獨逸輸出界の  $\frac{1}{3}$  は日本の負擔に期して居る點から見れば、獨逸の薄板工場なるものは殆ど全く日本向輸出を其の主なる目標として存立するものたることが明である。日本の薄板市場は、英國薄板界の 4 割弱と獨逸の薄板界の 3 割強とを、輔育すべく義務付けられてゐる。往時、日本に於て薄板と言へば英國品か米國品に限らるゝものとしてあつた。然るに近年に於ける獨逸の薄板工場は、英米の保有しつゝあ

つた日本市場に向つて猛撃を開始した。英米の十數萬噸に對して獨逸の日本向は近々 2 萬噸強にすぎぬのに、八幡の先物値段が、その僅少なる獨逸品を標準として値段を建てればならぬ程の勢力を有つものである。獨逸の總輸出は精々 80,000 噸で、英米のそれに比すべくも無い。しかもこの僅少なる數量が、單騎世界の市場を脅かしつゝ横行する有様は往年の「エムデン」さながらである。母國は國を擧げての薄板増産である。總輸出の 4 割を守らむとする英國と、3 割を更に増加せしめむとする獨逸と、而して、其の全部の輸入を驅逐せむとする日本と、三つ巴の商權争奪戰は、日本市場を舞臺として火花を散らさうとする。最後の勝利は言ふ迄もなく地の利を得たる日本にあるべきことは勿論であるが、その事をこゝ迄運ぶまでの犠牲は、日本として覺悟してかゝらればなるまい。(5月30日、伯林にて)

1. 賣出と引受 9月積は今迄と異なり定期が無くなったので各工場別に就て賣出噸數を見ると前月と大部變化がある、即ち線材、1.2小形、3.小形、2.中形は増加し特に第3.小形は1,700噸の増加であつた。其他は減少して、結局總計に於て前月の4,500噸に比し2,500噸だけ多く賣出した、此數量は定期が無いのには甚だ僅少であるが積出遅れの整理の意味もあつて此限度に止めた。然し市場の要求もあつて約2,000噸に近い超過引受をなした。

2. 申込數量 條鋼の軟調に脅えて居る市場の有様は此先物申込に如實に現はれて居る。先物の總申込數量が、15,000噸の定期契約を擁した8月渡と、殆んど同數量しかなく、特に地場の現況が悪化する第3.小形物の申込が500噸と云ふ貧弱な數字を現はした。之を申込10,000噸を越えた去年のそれと比較して轉た感慨に堪えないものがある。只型物類は市場の好調を反映して皆申込が増加して居る。鋼板の申込は先月の約16,000噸に比し約3,000噸の減少である。

9月積先物賣行概況

引受噸數	工場名		線材	一 小	二 形	三小形	一中形	二中形	一大形	二、三 大形	軌條	計	申込	内 譯					
	先物賣出噸數	噸數												東京	大阪	名古屋	其他		
條鋼の部	先物	丸鋼	213			272			513			1,028	1,420	285	695	150	286		
		角鋼			408			172	278			858	954	245	500	100	109		
		平鋼			492			562				1,057	1,679	380	650	167	482		
		等山			334		290		150		1,494	2,268	3,131	1,785	1,281	20	45		
		不等山						165	120	426	180	891	1,186	431	750	—	5		
		溝形						100	380	757	467	1,704	2,074	630	1,385	48	11		
		工形								40	931	971	1,543	487	1,051	—	5		
		先物計	213	1,234	562	1,002	1,471	1,223	3,072		8,777	11,987	4,243	6,312	489	943			
鋼板の部													鍍力板の部			黑板の部		線材の部	
區分	工場名	先物賣出噸數	申込噸數	内 譯				引受噸數	區分	品種	市場向	實需向	賣出噸數	1,500	區分	品種	線材	製釘材	
				東京	大阪	名古屋	其他												賣出噸數
先物	厚板	500	4,024	1,065	2,135	417	407	900	賣出噸數	300	500	1,500	申込噸數	1,500	申込噸數	1,270	3,000		
	一中板	400	2,760	1,170	1,150	226	220	400	申込噸數	995	500								
	二中板	400	6,253	1,995	3,327	305	626	400	引受噸數	bs 100	110							150	
	先物計	1,300	13,037	4,230	6,612	942	1,253	1,700											
定期	厚板(耳板)								引受噸數	bs 170	167	150	1,500	引受噸數	600	3,000			
	一中板							oil cize									23	200	
	二中板																		計
	定期計																		

6月下旬線材、薄板、鍍力板、輸入速報

港別	品名	B.W.G No. 5	線材		薄板		鍍力板		
			其他	計	6月計	0.7耗以下	6月計	下旬	6月計
神戸	戸	4,939	1,593	6,532	12,581	439	2,878	780	2,592
大阪		402		402	1,703	532	2,004	39	39
横濱		1,524	78	1,602	3,909	428	1,354	1,028	3,327
計		6,865	1,671	8,536	18,193	1,399	6,236	1,847	5,958
上中旬計		15,367	2,826	18,193		6,236		5,958	

備考 神戸大阪は自 18 日至 27 日、横濱自 17 日至 26 日

東西市況——大體底入れか、時期が時期故荷動きの活潑ならざる事には變りなきも、丸鋼ベースがどうやら底入れ



角		鋼		不等邊山形		鋼		板		
12	"	10-20		1/2" x 4 x 6	9-80	10-00	90 x 5 x 10	"	11-00	
15	10-90	10-30		溝形鋼		薄鋼板(13枚)				
19	"	11-00		1/4" x 2' x 4'	16-00	15-00	米	73	71.5	
38	10-50	10-20		0.312 x 2 1/2 x 5	9-85	9-70	英	72	70	
平		鋼		3/8" x 3 x 6	10-30	9-80	八幡	72	69.5	
1/4" x 1 1/2'	9-80	9-50		3/8" x 3 x 8	10-00	10-30	鉑力板			
1/4" x 2	"	9-40		3/8" x 3 1/2 x 10	10-80	11-50	米	{170 <sup>lbs</sup>	23-20	23-50
1/4" x 3	"	9-60		3/8" x 3 1/2 x 12	16-00	16-00	100	12-70	12-50	
3/8" x 4	"	10-20		工形鋼		英		{170	22-50	22-10
1/2" x 4	9-80	11-00		1/4" x 3' x 6"	9-60	9-30	100	12-10	11-90	
等邊山形鋼				3/8" x 6 x 12	11-30	11-50	八幡	{170	22-70	22-40
m/m m/m m/m				0.28 x 4 x 8	9-60	9-30	線	100	12-10	12-20
6 x 50 x 50	9-60	10-00		0.35 x 5 x 12	11-20	11-20	No. 5#	101		96
6 x 65 x 65	9-35	9-20								

備考 單位 100 疋につき(置場渡値段)、但し薄板は1枚當り。線材は1疋當り。鉑力板は1箱當り。

昭和4年5月棒鋼寸法別揚地別引渡高表 單位 疋

寸法	丸				合計	鋼				合計	寸法	丸				合計	鋼				合計				
	民間向普通鋼					官廳向及規格品並特殊鋼						民間向普通鋼					官廳向及規格品並特殊鋼								
區分	阪神揚	京濱揚	其他	計	阪神揚	京濱揚	其他	計	區分	阪神揚	京濱揚	其他	計	阪神揚	京濱揚	其他	計	區分	阪神揚	京濱揚	其他	計			
6m/m	284	378	58	720	—	—	1	1	721	100m/m	—	5	—	5	62	—	5	67	72	—	—	—	—	72	
6.5	—	—	—	—	—	—	5	5	5	110	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—	—	—	—	1	
8	—	46	5	51	—	—	1	1	52	114	—	—	—	—	—	—	2	2	2	—	—	—	—	2	
8.5	—	—	—	—	—	—	4	4	4	115	—	—	—	—	—	—	9	9	9	—	—	—	—	9	
9	659	1,899	680	3,238	—	—	30	30	3,268	120	—	—	—	—	—	—	15	15	15	—	—	—	—	15	
9.5	—	—	—	—	—	—	2	2	2	125	3	2	—	5	—	136	3	139	144	—	—	—	—	144	
10	—	—	—	—	—	—	7	7	7	130	3	3	—	6	—	—	3	3	9	—	—	—	—	9	
10.5	—	—	—	—	—	—	6	6	6	135	—	—	—	—	—	—	24	24	24	—	—	—	—	24	
12	660	484	370	1,514	—	—	51	51	1,565	150	2	2	—	4	—	—	—	—	4	—	—	—	—	4	
13	—	—	—	—	—	—	23	23	23	160	1	1	—	2	—	—	—	—	2	—	—	—	—	2	
15	—	—	—	—	—	—	27	27	27	170	1	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	
16	—	—	—	—	—	—	417	426	426	180	—	2	—	2	—	—	—	—	2	—	—	—	—	2	
17	—	—	—	—	—	—	1	1	1	200	3	2	—	5	—	—	—	—	5	—	—	—	—	5	
18	—	—	—	—	—	—	33	33	33	丸鋼計	2,088	2,950	1,304	6,342	272	147	1,708	2,127	8,469	—	—	—	—	—	
19	—	—	—	—	—	—	87	96	96	角	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
20	—	—	—	—	—	—	3	3	3	12	63	68	—	131	—	—	—	—	131	—	—	—	—	131	
21	—	—	—	—	—	—	8	8	8	19	56	146	—	202	—	—	—	—	202	—	—	—	—	202	
22	—	—	—	—	—	—	1	9	532	22	—	4	—	4	—	—	—	—	4	—	—	—	—	4	
23	—	—	—	—	—	—	10	10	10	25	11	—	—	11	—	—	—	—	11	—	—	—	—	11	
24	—	—	—	—	—	—	1	1	1	30	7	—	—	7	—	—	—	—	7	—	—	—	—	7	
25	—	—	—	—	—	—	35	35	35	32	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
27	—	—	—	—	—	—	—	1	1	38	79	60	15	154	—	—	—	—	14	14	14	14	14	14	
28	—	—	—	—	—	—	12	12	12	40	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	1	155	
31	—	—	—	—	—	—	2	2	2	44	21	—	—	21	—	—	—	—	14	14	14	14	14	14	
32	—	—	—	—	—	—	24	24	4	50	64	66	—	130	—	—	—	—	1	1	1	1	1	22	
36	—	—	—	—	—	—	6	6	6	55	15	5	—	20	—	—	—	—	21	21	21	21	21	151	
38	—	—	—	—	—	—	56	56	56	60	—	5	—	5	—	—	—	—	1	1	1	1	1	21	
40	—	—	—	—	—	—	67	67	67	65	82	45	20	147	—	—	—	—	5	5	5	5	5	10	
42	—	—	—	—	—	—	10	10	10	70	3	—	—	3	—	—	—	—	13	13	13	13	13	160	
44	—	—	—	—	—	—	26	26	26	75	78	73	—	151	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
46	—	—	—	—	—	—	9	9	9	80	2	—	—	2	—	—	—	—	21	21	21	21	21	172	
48	—	—	—	—	—	—	5	5	5	90	28	7	—	35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
50	150	1	103	254	—	—	52	52	306	100	—	1	—	1	—	—	—	—	7	7	7	7	7	42	
55	107	20	7	134	—	—	7	7	141	120	6	1	—	7	—	—	—	—	17	17	17	17	17	18	
60	70	—	12	82	—	—	10	10	92	130	—	—	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	
65	6	84	40	130	—	—	46	47	177	140	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	1	1	
70	73	2	—	75	—	—	1	2	77	150	—	—	—	—	—	—	—	—	25	25	25	25	25	25	
75	1	—	—	1	—	—	24	24	25	170	—	—	—	—	—	—	—	—	32	32	32	32	32	32	
80	21	12	23	56	—	—	3	3	59	角鋼計	515	481	37	1,033	—	—	—	—	174	174	174	174	174	1,207	
85	—	7	—	7	—	—	—	—	7	平	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
90	44	—	6	50	190	—	12	202	252	鋼	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	2	2	2	351	



寸法	角									平								
	民間向普通鋼				官廳向及規格品並特殊鋼					民間向普通鋼				官廳向及規格品並特殊鋼				
	區分	阪揚	神揚	京濱	合計	阪揚	神揚	京濱	其他	計	區分	阪揚	神揚	京濱	其他	計	合計	
7/8		73	38	—	111	—	—	—	3	3	3	88	21	—	109	—	19	19
1		829	251	146	1,226	—	—	—	10	10	1,236	—	1	—	1	—	—	1
1 1/8		—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	121	34	18	173	—	6	6
1 1/4		820	454	138	1,412	—	—	—	—	1,412	3 1/2	—	—	—	—	—	—	—
1 1/2		5	—	7	12	—	—	—	7	7	19	3 5/8	12	3	15	—	4	4
1 3/4		10	30	15	55	—	—	—	2	2	57	4	63	33	95	—	67	67
2		1,110	405	82	1,597	—	—	—	27	27	1,624	5	11	5	16	—	16	16
2 1/4		30	34	78	142	—	—	—	—	—	142	平鋼	3,994	1,836	805	6,635	—	80
2 1/2		712	413	185	1,310	—	—	—	13	13	1,323	計	—	—	—	—	—	180
2 3/4		—	11	—	11	—	—	—	3	3	14	總計	6,597	5,267	2,146	14,010	272	147
																		2,062
																		2,481
																		16,491

備考 1. 鍛成品を含まず 2. 自家用は官廳向に含む

販賣旬報 第99號 昭和4年7月11日

上半期の鋼材輸入の趨勢 不取敢、神戸、大阪、横濱三港の上半期輸入數量と之に附隨した參考資料を下に掲記した。需給關係に就ては勿論内地生産の増減を考慮に入れなければならないから、輸入のみに就て云々することは出来ぬが、少くも 1/3 の勢力を有する輸入のことであるから大體の形勢は窺知し得るであらう。上半期の總數量から見れば本年は昨年比し稍多く一昨年より 10 萬吨近くの減少である。丸鋼の激増は去年の好況の反動で此數量が内地の増産と相俟つて市場を悪化したのである。上半期殆んど變らぬ輸入があるものに角、平、鋼板(0.7 耗超)、鋳力、鋼管がある。漸増して居るのは線材とシート・パイルで、共に内地生産の力及ばぬものである、之に反し上半期として漸減の品種は可なり多く、其内の大たるものは鋼板(0.7 耗以下)である、型物類は多少の増減はあるにしても大勢は減少で、軌條は特に顯著なものである、此等の數字と外注値段、及當所先物値段及當時の市中相場を組み合せて考察すれば各後半期輸入及内地生産の影響が不明としても、其處に何等か歸納し得るものを見出せるではあるまいか。

神戸大阪横濱三港上半期鋼材輸入比較表

區分 品名	鋼材上半期三港輸入數量			7月上旬外註値段			當所 10月渡先物値段 (7月上旬)			6月下旬東京市中 相場		
	昭和2年	3年	4年	昭和2年	3年	4年	昭和2年	3年	4年	昭和2年	3年	4年
丸角平	41,565	14,368	48,668	6-4-0	7-4-0	7-3-6	85-	95-	94-	8.59	9.69	9.30
	3,644	3,082	3,448							8.98	9.59	10.90
	10,621	8,773	8,584							9.20	9.69	9.90
等山	16,573	7,453	11,992	中小形 6-4-0	7-3-0	7-0-0	86-	95-	94-	8.80	9.34	9.30
										9.33	9.47	9.70
不等山	6,599	1,399	2,248	大形 6-7-7	7-0-0	6-18-0	88-	94-	93-	9.47	9.42	10.20
										9.87	9.47	10-
溝工鋼板 (0.7耗超)	16,370	5,080	4,403	6-19-0	7-2-6	7-1-6	97-	95-	95-	10.00	9.33	12-
溝工鋼板 " (0.7 m/m以下)	18,538	6,447	12,163	6-5-0	6-10-0	6-16-0	88-	88-	92-	10.27	9.60	9.60
	19,400	19,768	18,796	7-11-0	7-17-0	7-15-6	100-	102-	102-	12.20	11.60	13.70
	104,686	90,898	45,494							0.72	0.75	0.72
鋳力板	31,865	31,218	31,882	100#-	1-0-3	1-0-5	—	11.25	11.60	12.60	12.60	12.70
軌條材	45,637	22,690	16,973	170#-	1-17-4	1-17-2	—	21.00	21.30	22.60	23.30	23.20
線材	65,840	68,058	82,636	7-0-0	7-9-9	8-18-6	86-	94-	100-	81-	108-	101-
シートパイル	8,413	13,820	14,106									
鋼管	(27,000)	27,204	27,159									
其他	10,667	13,861	17,404									
計	427,418	334,119	345,950									
三港年累計	765,821	710,292										

備考 1. 昭和2年上半期鋼管は推定數量とす 2. 神戸、大阪、横濱の三港輸入高にして全輸入高にあらず

## 6 月中主要鋼材三港輸入概観—線材不相變多量

品名\港	神戸	大阪	横濱	計	前月輸入高	昭和3年1ヶ月平均
丸	726	928	1,391	3,045	4,341	3,184
角	118	73	186	377	678	423
平	303	181	814	1,298	1,748	1,231
等	山	78	170	433	691	1,380
不	等	11	73	273	218	226
溝	形	35	646	240	921	695
工	形	336	867	486	1,689	1,055
鋼板(0.7耗超)	954	500	570	2,024	3,830	3,466
鋼板(0.7耗以下)	2,584	2,004	1,429	6,017	5,439	16,780
鍼	力	2,014	39	2,593	4,646	5,297
軌	條	60	—	822	882	3,611
線	材	12,407	1,642	3,661	17,710	12,703
シート	パイル	383	—	1,732	2,115	1,743
鋼	管	805	1,307	2,349	4,961	4,409
其	他	726	165	1,671	2,561	2,150
計	21,540	8,595	19,066	49,201	59,103	58,405

線材の輸入は前月同様白眉である、特に阪神に多い、よくこれで100圓拂みの値頃を保つて居るものと感心の至であるが恐らく實需家筋で握つて居るものと思はれる。其外目星しいものを拾つて見ると丸鋼、鍼力、黑板がある、細丸は未だ横濱に9m/m 12m/m 各約400噸位の入荷を見た、好況の名残も中々續くものである。鍼力は6月に減少した爲市場は駭りとなつた、黑板は頗る調子のよい入荷振りであるが何にせよ製品の滞貨が祟つて未だに芽を吹かず、皆痺を切らして居る模様である。鋼材總數量は約1萬噸の減少で今年に入つてからの數字を掲げると、

1月	2月	3月	4月	5月	6月
61,083	64,494	58,349	53,681	59,103	49,201

即ち2月を頂上として漸減し、6月に於て初めて4萬噸臺に入つた譯である。

## 高爐セメントとモーターベンゾール

## 1、高爐セメント据置

梅雨期の在庫もたれも雨が少なかつたので氣遣れた程でなく、6月下旬に入つて地方的に多少の軟弱を見せ、其の間一二會社の安賣云々の聲で小波瀾を想はせたが大勢に影響なく、一般セメント界在庫品の消化は相當に活氣を呈したと報ぜられて居る。但し最近各社の相繼ぎ増産製品の市場出廻期に入つたのと一般事業界堅縮豫想によつて、一部では後半期の市價崩落を懸念されて居るが、大手筋は嚴重に思惑取引を警戒し、飽迄強氣で業界の不安人氣を防いで夫々對策に怠りなく、多少の夏枯はあつても大體に少くとも現在の市況は維持せられるものと考へられて居る。當所高爐セメントも未だ何等直接の影響なく、相變らず新方面からの需要相繼ぎ増産實現を切望せられて居る。以上により先月末の價格打合せ例會によつて當所品新價は据置の事に決定した。

1 當所工場渡1樽=付1口1,000樽以上契約の場合 3圓95錢 / 500樽以上 / 4圓5錢 / 500樽未滿4圓15錢

2 當所工場渡1袋=付1口1,000樽分以上契約の場合 1圓24錢 / 500樽以上 / 1圓27錢 / 500樽未滿 / 1圓30錢尙各地方當所指定河岸渡(水切なし)運賃は前回地方別に改めたが、船會社と協定の運賃改正によつて新契約のものより1樽1錢値上の事になつた。

1 大阪、神戸各指定河岸 1樽=付56錢、2 東京、横濱、名古屋 / 66錢

## 2、モーターベンゾール据置

當所骸炭副製品の寵兒とされてゐるモーターベンゾールも、引續く揮發油の溜々たる落調に押されて、最近多少人氣不冴の觀あり、前期價格決定に於ては取扱者の希望を容れ遂に5圓値下げを執行して市況は軟調裡に推移した。然るに揮發油界は6月中旬に日石、ライ社、メ社の三社の販賣價格引上協定の成立があつて市中相場も著しく引締氣配濃厚になり久方振りに上向歩調に轉じたるを以て、必然値幅關係よりモーターベンゾールの不人氣も漸次回復され、今期相場は相當興味ある場面を呈するものと思はれる。尙當所の需給關係を見るに陸、海軍方面の需要の漸増、染料工業方面の純ベンゾールの出廻り旺盛等の爲め、相變らず常に供給數量の不足に苦慮して居る。以上市況並に當所の

需給状態より今期 7、8 月渡價格は一部の値下げ希望を退け下記の通り前期價格を据置きのことにした。

下 記

1. 70 吨以上契約ノ場合 金 175 圓替 35 吨ノ金 185 圓替 35 吨未満ノ金 195 圓替
- 尙ソルベントナフサ、テレメン油、100 %ベンゾールは夫々下記通り決定した。
2. ソルベントナフサ 30 吨以上契約ノ場合 金 165 圓替(前期の 5 圓下げ) 30 吨未満ノ金 170 圓替 ( " )
3. テレメン油 金 170 圓替 ( " )
4. 100 %ベンゾール 金 230 圓替(据置)

備考 以上全部八幡當所工場渡新罐、新箱入 1 佛吨替

6 月下旬線材、薄板、鉄力板、輸入速報

港 別	線 材			薄 板 0.7 耗以下	鉄力板
	B.W.G. No. 5	其他	計		
神 戸	2,534	375	2,909	755	540
大 阪	290	—	290	323	—
横 濱	1,147	240	1,387	633	1,144
計	3,971	615	4,586	1,711	1,684

備考 神戸自 6 月 28 日至 7 日、大阪自 6 月 28 日至 8 日、横濱自 6 月 27 日至 6 日

**東西市況——低迷** 滞貨の漸減を意識した市場は、先月末頃には比較的堅實な歩調に移り此分なら少しは立ち直るかと思はれたが今月に入ると共に突如として起つた例の政變以來、先づ第一に爲替の強調を見、續いて海外軟調の報を入れ其所謂緊縮政策の名に脅かされ前途に消費力衰退の不安を抱く等弱氣材料の蝟集によつて急轉して氣迷の商狀となつた、それに東京ではまたも一、二間屋の破綻も響いて警戒氣分濃厚となり、地方筋も兎角見送り勝ちにて荷動き益々鈍く爲に腰砕けとなり、梅雨が明けても當分はこんな愚圖ついた商況のまゝ推移するのではあるまいかと見て居る筋もある。然しこの觀察も斯界の重鎮たる丸鋼に關するものが主たるもので他の品種に於ては別項の如く色様々の経過を辿つて居る。

東 京 市 況

**丸鋼** 前記の弱氣材料にかへ加へてベース物には投物に近い安物が市場を彷徨する等折角の出鼻を挫かれ、地場の氣を悪くして居る模様で當分は此邊を低迷するのではあるまいかと觀察されて居る、細丸も手持消化の割合には一向に冴えず、只太丸が餘喘を保つて居るのみである。

**角、平鋼** 角は不思議がられる程高値保合が續き、平は可なり續いた好調の反動故、暫くは此無風状態からは脱することは出来まいと見られて居る。

**型钢** 中型等山は西筋が期待する程の事はなく今の處は諦め切つて前途に別段の期待もしては居らない模様、不等山も在荷潤澤にて小甘いと云はれて居る、之に反し大形山形のみは抬頭の氣分が潜在し目先強調と見られて居る。溝、工共好調裡に亂調子を辿り溝に於ては 2×4 は 19 圓と爆發し、3½×12 未だ不衰、猶 2½×5、3×6、3½×10 が前途を囑望されて居るし、工に於ては 1 年に餘つて沈滞して居た 5×10 が近來更生して、めききめと擡頭し、5×12 や 6×12 が硬化し初める等誠に良い意味の多事である。

**鋼板** 丸鋼の頽勢を眺めながらの稀有の好調の事とて落ちての取引なく、全くの浮調子にて高低に規矩なく、僅少の入荷にも思ひ切つて下放れるかと思へば、品薄を楯に突飛な昂騰を見る等殆んど瞻睨すべからざるものがある。

大 阪 市 況

**丸鋼** 總てに敏感な大阪も今度は割合に落着いた商狀裡にある様に觀られ、丸鋼に就ても先月末より商況更新の兆を現はし初め、ペース 9 圓 40 錢と僅かながらも確實なる一步を踏み出し、其儘に落ち付いて居ると見られて居る、然しながら此先には前述の様な面白からぬ材料が山積して居ること故如何に變轉するか一般に注目されて居る。

**角、平鋼** 角は依然品薄の爲高持合を續けて居るが、需給共に最も貧弱な角鋼が斯く永い間斯界の花形と云ふ皮肉な現象を現はして居るのは、慾張れば直に滞貨に惱まされると云ふ過去の苦い經驗の貴重な産物であらう。平は丸鋼に連れて心持引き締り氣味となり 3' 幅以上のものに品薄物が出來 ¼, ⅓ 厚のものは伸鐵に押されて伸び悩みと見られて居る。

**型钢** 中形山形は四圍の情況に左程惡氣流も見えないにも不拘、今一步冴えない處から見ると何處かに鈞天井があ

つて牽制して居るのではあるまいか。大型山形は矢張り引續き需要もあり好調を失はない。溝形鋼、歩一歩堅調、滞貨減少に連れ目先需要の如何に依つては相當の波瀾を見るであらう。工形も先つ好調子の部に入れるべきもの最近5×10は、東京と共に著敷見直した、全體の取引は稍閑散の様である。

**鋼板** 外注の到着と當所品の出廻りに利喰、買埋め、思惑買と三つ巴の亂調子、今迄の旗賣りも相當あつた模様故目先の入荷品は大體消化されるものと見られて居る。8 m/m 以上のものは不變

◎旬報第九十五號及び第九十八號の「鈴木參事海外通信特輯號」各餘部若干あり、御希望の方は申出られたし。

外國爲替市中相場

區分	June 29	Jul. 1	2	3	4	5	6	7	8	9
日英	1/9-5/8	1/9-13/32	1/9-13/16	1/9-15/16	"	1/9-7/8	1/10-0	1/10-1/32	1/10-1/8	
日米	43-3/4	43-11/16	44-1/8	44-3/8	"	44-1/4	44-1/2	44-9/16	44-3/4	
日佛	11:00	"	11:20	11:30	"	"	"	11:35	11:40	
備考	日佛のみ正金建値									

東京大阪市中相場 東京7月8日 大阪7月5日

丸鋼	東京		大阪		等邊山形鋼		工形鋼	
	東京	大阪	m/m m/m m/m	東京	大阪	東京	大阪	
6m/m	9:90	9:90	9×75×75	9:30	9:20	0-36''×5''×10''	10:80	19:60
9	9:70	9:80	9×130×130	9:70	9:80	鋼板		
12	9:60	"	12×130×130	9:80	10:00	1-6m/m×3'×6'	14:30	14:30
19	9:30	9:40	15×150×150	9:90	10:10	1-6×4×8	11:60	11:80
25	"	"				3-2×4×8	14:50	12:50
50	10:20	11:00				3-2×5×10	12:50	12:70
65	"	10:90				6-0×4×8*	13:80	12:80
						6-0×5×10	13:50	12:40
角鋼						9-0×4×8	11:30	11:30
9m/m	10:80	9:90	3/8 × 3 1/2 × 5	9:90	10:50	9-0×5×10	"	11:00
12	10:70	10:20	3/8 × 4 × 6	9:70	10:00			
15	10:90	10:30	1/2 × 4 × 6	9:80	9:90			
19	10:80	10:60						
38	10:60	10:10						
平鋼								
1/4'' × 1 1/2''	9:80	9:50	1/4'' × 2'' × 4''	19:00	16:00	薄鋼板(13枚)		
1/4 × 2	"	9:40	0-312 × 2 1/2 × 5	9:80	9:80	米	73	71.5
1/4 × 3	"	9:60	3/8 × 3 × 6	10:40	10:80	英	72	70
3/8 × 4	9:90	10:20	3/8 × 3 × 8	10:00	10:30	八幡	71	70
1/2 × 4	"	11:00	3/8 × 3 1/2 × 10	11:20	11:50	鋼力板		
			3/8 × 3 1/2 × 12	16:00	15:00	米	{170lbs 23:20 23:40	
							{100 12:70 12:40	
							英	{170 22:50 22:20
								{100 12:10 11:80
								八幡
								{170 22:70 23:00
								{100 12:10 12:20
								線材
								No. 5
								101 98:50

備考 單位-100 疋につき (置場渡値段)、但し薄板は 1 枚當り、線材は 1 疋當り、鋼力板は 1 箱當り。

(販賣旬報第96號附)

昭和4年5月中神戸、大阪、横濱、三港品種寸法別輸入高表

單位、噸

Table with multiple columns: 寸法 (Dimensions), 噸數 (Quantity), 寸法 (Dimensions), 噸數 (Quantity), 寸法 (Dimensions), 噸數 (Quantity), 寸法 (Dimensions), 噸數 (Quantity), 寸法 (Dimensions), 噸數 (Quantity), 寸法 (Dimensions), 噸數 (Quantity), 寸法 (Dimensions), 噸數 (Quantity), 寸法 (Dimensions), 噸數 (Quantity), 寸法 (Dimensions), 噸數 (Quantity). Includes categories like 棒鋼 (Rebar), 鋼板 (Steel Plate), 鋼管 (Pipe), 鐵條 (Iron Rods), and 附屬品 (Accessories).

昭和4年6月分契約高 單位、圓

品 種	區 分	官廳小計		民間小計		6 月中合計			本年度累計		
		噸數	金額	噸數	金額	噸數	金額	噸當	噸數	金額	噸當
大	條	4,228	484,785	4,902	462,233	9,130	947,018	94 <sup>30</sup>	23,121	2,276,615	98 <sup>46</sup>
中	條	748	114,379	2,647	257,070	3,395	371,449	109 <sup>41</sup>	15,967	1,616,972	101 <sup>27</sup>
小	條	262	36,696	2,297	226,314	2,559	263,010	102 <sup>78</sup>	24,049	2,312,676	96 <sup>16</sup>
鋼	板	1,765	274,453	4,369	688,671	6,134	963,124	157 <sup>01</sup>	26,987	3,155,281	116 <sup>92</sup>
重軌條及附屬品		2,115	237,809	2,515	255,290	4,630	493,099	106 <sup>50</sup>	136,728	13,822,838	101 <sup>10</sup>
輕軌條及附屬品		602	65,057	—	—	602	65,057	108 <sup>07</sup>	4,912	517,784	105 <sup>41</sup>
線	材	—	—	4,040	393,040	4,040	393,040	97 <sup>23</sup>	12,382	1,203,495	97 <sup>19</sup>
黑板、硅素鋼板、鐵力板		2	605	2,056	317,975	2,058	318,580	154 <sup>80</sup>	13,645	2,500,454	183 <sup>25</sup>
車軸、外輪、鍛成品		—	—	140	31,106	140	31,106	222 <sup>19</sup>	1,057	254,580	240 <sup>81</sup>
工具鋼、特殊鋼		123	37,892	123	37,892	123	37,892	308 <sup>06</sup>	185	43,939	237 <sup>51</sup>
其他鋼材		—	—	—	—	—	—	—	708	90,002	127 <sup>12</sup>
鋼材小計		9,845	1,251,676	22,966	2,631,699	32,811	3,883,375	118 <sup>36</sup>	259,618	27,756,744	106 <sup>91</sup>
短尺及屑	鋼計	304	21,308	2,979	199,397	3,283	220,705	67 <sup>23</sup>	12,132	834,502	68 <sup>79</sup>
合計		10,149	1,272,984	25,945	2,831,096	36,094	4,104,080	113 <sup>70</sup>	271,750	27,591,246	101 <sup>53</sup>
鋼片、鋼塊、シートバー		—	—	9,350	667,520	9,350	667,520	71 <sup>30</sup>	28,347	2,057,133	72 <sup>57</sup>
以上計		10,149	1,272,984	35,295	3,498,616	45,444	4,771,600	105 <sup>00</sup>	300,097	29,648,379	98 <sup>80</sup>
副製品其他		—	65,518	—	157,562	—	223,080	—	—	1,706,150	—

昭和4年9月渡先物契約數量表 單位、噸

寸法	噸數	本年累計	寸法	噸數	本年累計	寸法	噸數	本年累計	寸法	噸數	本年累計	寸法	噸數	本年累計
<b>丸 鋼</b>			55	—	20	75	85	1,073	8 × 3½	—	218	24 × 7½	146	657
m/m			65	65	604	90	20	245	8 × 4	—	200	m/m m/m		
6	170	1,554	75	75	590	100	—	317	10 × 3½	—	340	200 × 100	85	601
8	43	1,253	90	88	433	130	800	2,857	12 × 3½	—	676	230 × 100	—	50
9	182	11,844	100	—	77	150	694	4,256	15 × 5	—	369	250 × 135	220	370
11	—	189	合計	858	5,946	200	—	100	m/m m/m			300 × 150	210	521
12	90	8,275				合計	2,268	12,814	75 × 40	100	420	合計	971	5,151
50	165	1,969	<b>平 鋼</b>			<b>不等邊山形鋼</b>			100 × 50	380	776	<b>型鋼合計</b>	5,834	
55	125	1,070	¾"	41	1,013	3" × 2"	75	735	230 × 80	—	135	<b>本年累計</b>	43,106	
60	—	160	⅞	43	817	3 × 2½	90	927	230 × 90	—	45	<b>條鋼合計</b>	8,777	
65	125	1,564	1¼	97	2,975	3½ × 2½	—	369	250 × 90	110	580	<b>本年累計</b>	99,100	
75	112	1,311	1½	78	2,073	3½ × 3	—	1,206	300 × 90	199	199	<b>鋼 板</b>		
90	—	410	1¾	37	1,278	4 × 3	120	1,738	合計	1,704	10,157	m/m		
100	16	118	2	136	2,884	5 × 3	111	2,440	<b>工 形 鋼</b>			1.6	242	3,908
合計	1,028	29,738	2½	86	1,834	5 × 3½	315	3,513	4" × 3"	—	410	2.3	158	1,597
<b>角 鋼</b>			3	153	22,53	6 × 3½	—	1,053	5 × 3	—	100	3.2	184	4,614
m/m			3½	127	984	6 × 4	180	2,803	6 × 3	40	303	4.5	216	1,576
12	42	596	3⅝	77	778	合計	891	14,784	6 × 5	—	105	6.0	815	2,584
15	—	653	4	122	574	<b>溝 形 鋼</b>			8 × 5	—	140	8	—	182
16	125	125	合計	1,057	20,310	3½" × 2"	—	471	8 × 6	—	89	9	85	629
19	51	274	棒鋼合計	2,943		5 × 2½	205	1,498	10 × 5	—	110	12	—	115
22	—	75	本年累計	55,994		6 × 2½	136	1,021	10 × 6	—	160	合計	1,700	15,205
25	92	423	<b>等邊山形鋼</b>			6 × 3	326	1,763	12 × 5	—	80	<b>鋼板合計</b>	1,700	
28	—	90	m/m			7 × 3	90	401	14 × 6	125	370	<b>本年累計</b>	15,205	
32	98	434	40	331	2,096	8 × 2½	—	321	16 × 6	—	450	<b>總 合 計</b>	10,477	
38	95	650	45	57	431	8 × 3	158	724	18 × 7	—	435	<b>本年累計</b>	114,305	
44	77	328	50	233	674									
50	50	522	65	45	765									

昭和4年5月中國別輸入數量表(單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	埃	和	典	合	關	印	其他	計	本年度 累計
條及竿鐵 <small>(丸、角及平形にして徑 邊又は巾15m/mを認 えざるもの)</small>	284	571	1,731	739			24	5			30	3,334	26,055
〃 (丸、角、平のもの其他)	384	585	1,531	767	89		137	18			43	3,554	27,403
〃 (テ-形及アングル形)	849	104	850	591				15		38		2,447	23,548
〃 (其 他)	136	387	2,507	202				1,237				4,469	27,821
レ、			720					2,779				3,499	15,321
フィッシュ、プレート			30					75				105	645
ワイヤ-ロード <small>(巻きたるものにして徑 5m/mを超えざるもの)</small>													4
〃 (巻きたるもの其他)	239	1,205	12,958	663		382	177	1,955				17,579	72,063
鋼板 <small>(金屬を鍍せざるものにして厚 0.7m/mを超えざるもの其他)</small>	346		170				5	593				1,114	4,617
〃 <small>(金屬を鍍せざるものにして厚 0.7m/mを超えざるもの其他)</small>	3,512	13	1,273	98				156				5,052	36,646
〃 <small>(金屬を鍍せざるものにして厚 5m/mを超えざるもの)</small>	68	157	329	183	1		17	550			34	1,339	8,460
〃 (金屬を鍍せざるもの其他)	3,834	144	275	291			43	179				4,766	20,081
〃 (錫鍍したるもの)(葉鐵及葉鋼)	2,049		27	77				4,975			9	7,137	33,418
〃 (亞鉛鍍したるもの)	4		38					47	6		25	120	623
〃 (其他卑金屬を鍍したるもの)	11	33	198	4			1	369			1,310	1,926	3,866
鐵 線	40		12	51	2		29	68			38	240	1,551
リード、ワイヤ-		1										1	19
鐵 リボン	100	12	257				71	11				451	2,242
帶 (籠 鐵)	118	382	2,957	1,411		31		33				4,932	17,602
パラゴン、ワイヤ-	6		1				2					9	79
線 索	45										1	46	173
撚 合 線													53
バーブド、ツイスト、ワイヤ-													
鐵 筒 及 管	341	162	3,131	70			16	1,811			3	5,534	24,017
特 殊 鋼(稅表一)	11	1	12	1	24		16	14	18		23	120	643
〃 (稅表二)	24		6		44		9	5			5	93	342
鐵道車輛用車輪及車軸			1									1	130
鐵道車輛用タイヤ	18	9	152									179	486
鐵道車輛用スプリング													
合 計	12,419	3,766	29,166	5,148	160	413	547	14,895	24	38	1,521	68,097	347,908
フェロ、マンガン-ス	91						1					92	766
フェロシリコン及 シリコスピ-ゲルアイゼン			25				32					57	206
其他の不可鍛成鐵合金		5	14				39					58	156
シートバー(ティンバーを含む)	3,767	1,190	3,126	5,874				6,402		184	1,513	22,056	71,285
インゴット、ブル-ム、 ピレット及スラップ		20	3,242		20		1			54		3,337	15,478
ケツグスチ-ル及パ-ン-プ-スチ-ル							16					16	381
其他の塊及錠鐵													
合 計	3,858	1,215	6,407	5,874	20		89	6,402		238	1,513	25,616	88,272
銑 鐵	406		130					3,253	11,839	45,908	396	61,933	312,708
屑 及 故 鐵	1,073	497	180					8,999	417	17,809	8,197	37,262	189,426

昭和4年5月中當所品種寸法別生産高表

單位、吨

寸法	吨數	寸法	吨數	寸法	吨數	寸法	吨數	寸法	吨數	寸法	吨數	寸法	吨數
棒鋼/部		鋼	1	鋼	189	鋼	288	鋼	5	鋼	412	鋼	17
丸鋼	5.5	平	13/16"	鋼	1,104	16	14	25	22k用 F.P.	座	412	高張力	1
6	1,101	1	7/8	計	156	17	23	30	37k 用	其他鋼材	822	座	1
8.5	4,548	2	1 1/4	薄形	83	18	173	35	50k	計	135	計	1,274
9	4,548	3	1 1/2	6" x 2 1/2"	877	19	6	45	トランク	鋼材總計	23	鋼材總計	80,712
9.5	45	3 1/4"	3 1/4"	7" x 3"	6	20	136	5)	ホーネット	鐵	109	鐵	
12	1,434	3	3 1/2	8 x 2 1/2"	2,684	21	2	計	ス パイキ	計及附	1,501	計及附	54,356
16	560	3 1/2"	3 1/2"	8 x 3 1/2"	超鋼板	28	2	板	軌條	及附	24,718	本所	14,361
19	263	3 3/4"	3 3/4"	8 x 4	計	30	2	B.W.G.No.	產品合計	產品合計	24,718	本所	14,361
22	606	3 1/2"	3 1/2"	15 x 4	0.7m/m	30	8	33	線材及	線材及	1,269	線材及	63,717
24	20	3 3/8"	3 3/8"	m/m	1	35	3	31	製釘材	製釘材		製釘材	
28	606	4	4	m/m	1	42	6	30	部	部		部	
38	126	計	計	230 x 80	69	45	39	29	鋼	鋼		鋼	
40	63	半	半	230 x 90	2	48	18	計	線	線		線	
42	17	丸	丸	250 x 90	911	50	27	計	5.5m/m	5.5m/m		5.5m/m	
44	44	1/4" x 3/4"	1/4" x 3/4"	計	16	100	131	佳	鋼板	鋼板		鋼板	
46	63	3/8 x 3/4"	3/8 x 3/4"	工形	1.85	100	1	0.35m/m	板	板		板	
48	11	3/8 x 1 1/8"	3/8 x 1 1/8"	26	1.9	3	1	計	141	141		塊	
5.5	578	1/2 x 1 1/2"	1/2 x 1 1/2"	42	2	32	2	鋼	141	141		塊	
5.5	2	1/2 x 2	1/2 x 2	278	2.3	118	9	鋼	板	板		塊	
5.5	6	1/2 x 2	1/2 x 2	131	2.4	1	17	鋼	117	117		塊	
60	139	3/4 x 2	3/4 x 2	12	2.5	7	27	鋼	4.5m/m	4.5m/m		塊	
100	98	計	計	1,106	2.9	100	22	鋼	4.7	4.7		塊	
計	9,719	種鋼計	種鋼計	3	3.175	3	3	鋼	6.	6.		塊	
角鋼		型鋼/部	型鋼/部	3	3	3	3	鋼	7	7		塊	
38m/m	70	等邊山形鋼	等邊山形鋼	1,598	3.6	17	10	鋼	8	8		塊	
44	1	25m/m	25m/m	計	3.759	1	3	鋼	9	9		塊	
46	4	30	30	球山形鋼	117	1	12	鋼	10	10		塊	
50	52	40	40	200 x 75	117	1	3	鋼	11 1/2	11 1/2		塊	
55	31	65	65	計	117	1	5	鋼	12	12		塊	
65	339	75	75	Z形鋼	128	2	5	鋼	14	14		塊	
70	14	90	90	100 x 70 x 60	1,480	2	2	鋼	14	14		塊	
75	464	130	130	計	2	2	2	鋼	18	18		塊	
90	147	150	150	T型鋼	73	23	12	鋼	18	18		塊	
100	545	2.0	2.0	5" x 3"	236	80	24	鋼	13	13		塊	
110	8	計	計	6 x 4	1,761	111	1	鋼	20	20		塊	
120	8	不等邊山形鋼	不等邊山形鋼	35	6.4	6	7	鋼	25	25		塊	
130	29	1" x 2 1/2"	1" x 2 1/2"	14	6.5	7	5	鋼	8k	8k		塊	
140	5	4 x 3 1/2"	4 x 3 1/2"	49	7	43	14	鋼	1,219	1,219		塊	
150	31	3 1/2 x 3	3 1/2 x 3	形鋼計	35	1	18	鋼	728	728		塊	
152	3	4 1/2 x 3	4 1/2 x 3	條鋼計	14	43	145	鋼	342	342		塊	
170	36	5 x 3	5 x 3	不等邊山形鋼	49	1	7	鋼	174	174		塊	
計	1,782	計	計	80,799	10	8	37	鋼	395	395		塊	
		0.7m/m以下鋼板	0.7m/m以下鋼板	形鋼合計	11	11	16	鋼	5,178	5,178		塊	
		B.W.G.No.	B.W.G.No.	條鋼合計	12	12	11	鋼	4,017	4,017		塊	
		33	33	鋼板/部	13	13	6	鋼	2,686	2,686		塊	
		180	180	計	14	14	4	鋼	計	計		塊	